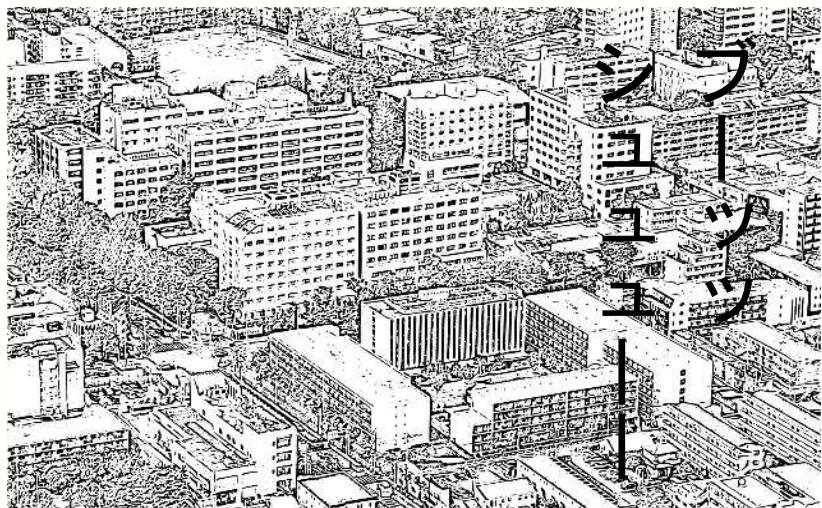


瞳の国のリー・ヤー（李 雅）とアンアン（安安）

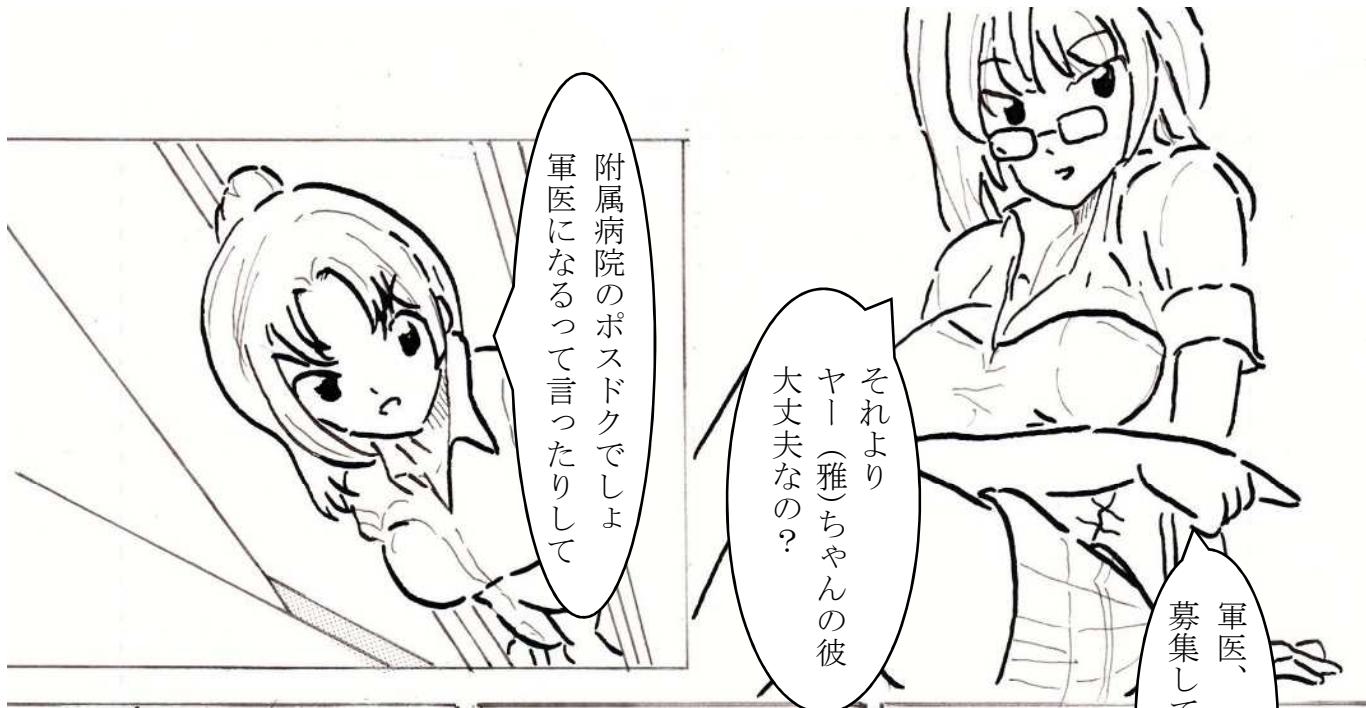


突然、爆発音が
キャンパス内に響きました



この頃、キャンパスには爆発音が当たり前になり、「またか」とやり過ごそうとする中、心には不安の影が落ちていたのです。







ゼミのボランティアで孤児院訪問

はーい
お姉ちゃんたちと
遊ぼうね

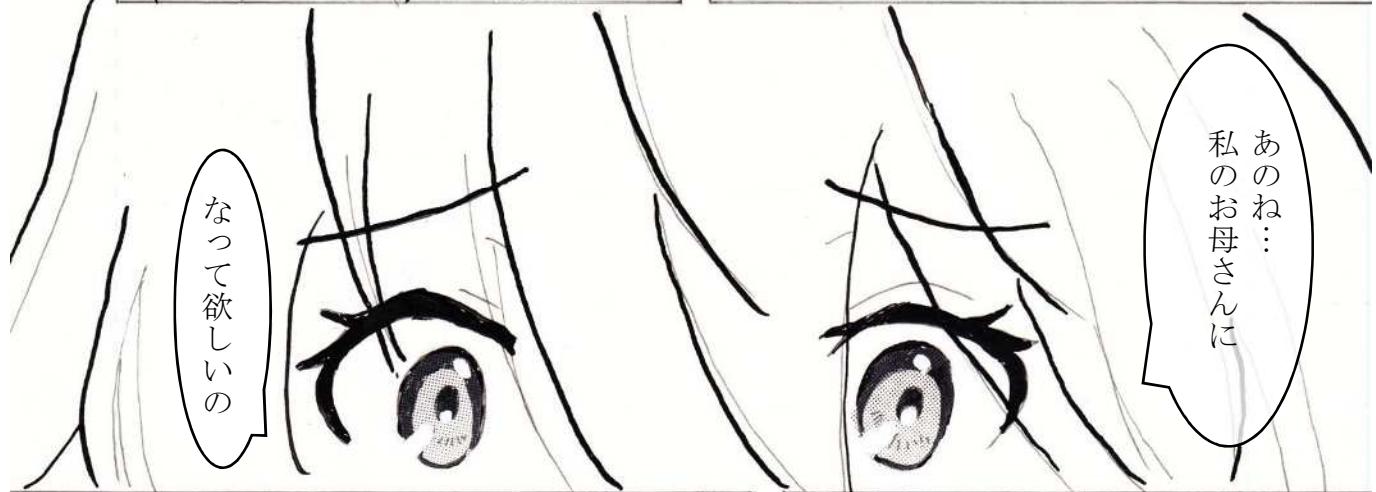
一人ぼっちの安安(アンアン)
誰の目にも映っていないみたい

私を育ててくれた
お祖母ちゃん
そつくり

あれー
あの子かわいい

そこで出会った小さな瞳
その子の姿と私を育ってくれた祖母
の面影とうりふたつで
何か孤独な
光を放つ下の子の子

涙、浮かべている
どうしたのかな?



私の
処においで!

お祖母ちゃんの生まれ変わりだ

え







色々あつて
私の娘にな
なつたの!

思い出させるよ
ドローン墜落

私はアンナンの袖を
守ろうとしているのか
脅そうとしているのか
平和な国に来たはず
掴みました





逃げ出した私は
清掃アルバイトを開始

ヤーさん、トイレようしく

早朝午前5時のオフィス清掃
これだとアンアンに
対応できるのが良い

そんな折、人気の
キャラクターに安安が没頭

流行りのグッズのロットアウト品が
手に入ったから娘さんにあげですよ

はい
分かりました

くろこ

「しーつ」だからね
言つたらダメだよ

あつ、K空港の方からスクランブル
あの音に慣れてきたけど
あの三角翼が命がけで守っているのかな?
また早朝のの静かなオフィスに戻った

この愛だけが
本物なんだよ

キャンパス、
知の城塞
T大学に戦禍

流し台で身体を
洗った二人だけ
の城塞

ありがとうございます
喜びます

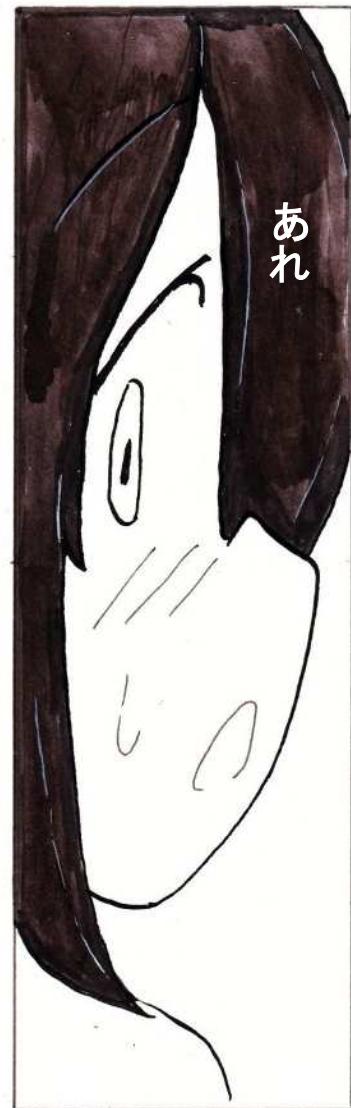
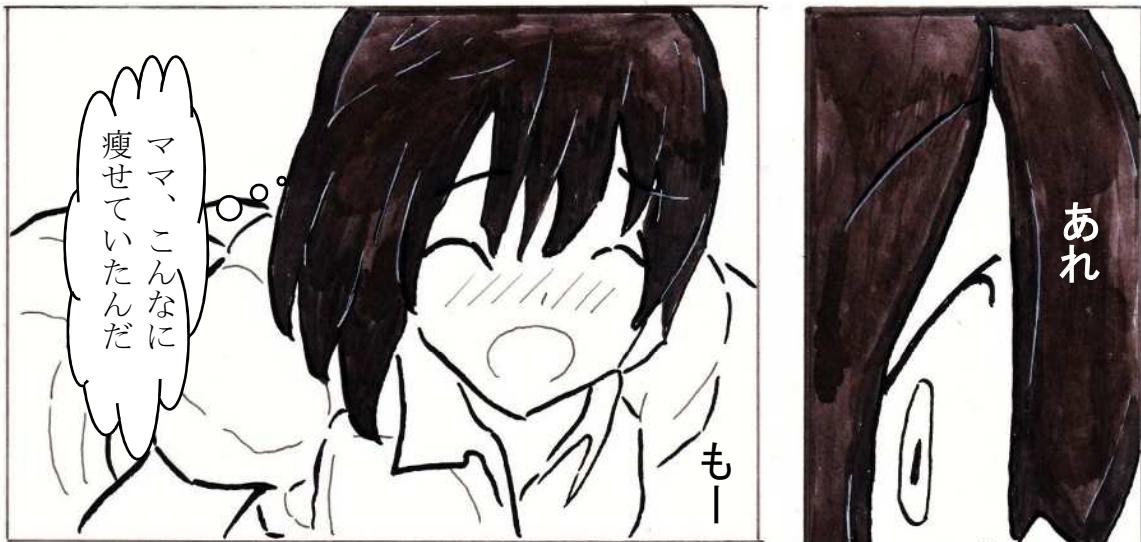


来日して十年
アンアンは
高校生になりました





アンアンが抱き着いてきました





Abstract by NotebookLM

このマンガは、李雅（リー・ヤー）という人物と彼女の娘である安安（アンアン）の人生を描いた物語です。物語は、戦火に見舞われた地域から日本へ逃れてきた母娘の経験を中心に展開し、李雅が孤児だった安安を引き取り、継母として育てる過程や、元々の実母による育児放棄といった自身の過去が語られます。二人が日本で困難な生活を送りながら絆を深めていく様子が描かれており、安安は学校でのいじめや血縁関係がないことに苦しみながらも、最終的には次も李雅の子供として生まれたいと願うほどの強い愛を育んでいます。

資料

松浦祥子;孤児の私 瞳に映してくれた,朝日新聞,20251012

亜桜まる;制服少女未征服,少年画報社,20170930

斧名田マニマニ;冒険者ライセンスを剥奪されたおっさんだけど、愛娘ができたのでんびりじんせいを謳歌する

編集後記

もともと新聞記事が興味深くて描き始めたのですが、Gemini さんとやり取りする中で、自身の過去の経験を踏まえて、色々と考えていたら、ストーリーが全く別物になってしまいました。なかなか、きな臭い話が多い昨今ですが、こんな事態になることは、何とか回避したいものですね。でも考えてみたら一ヶ月足らずでここまで来ました。年内に何とか完成できたらと思っていたのですが。